

レクチャー&コンサート

# モーツァルト ピアノ作品の魅力

講師 ピアニスト 久元 祐子

名作曲家であると同時に、名ピアニストでもあった天才モーツァルト。35年間の人生で紡がれたピアノ作品の魅力に迫ります。楽譜にこめられたモーツァルトのメッセージを丹念によみとき、名演を重ねるピアニストの久元祐子さんが、解説を交えながら演奏します。



©K.Sakayori

♪演奏予定曲目♪

「幻想曲」ニ短調 KV397

「トルコ行進曲」イ短調

ピアノ・ソナタ ニ長調 KV576 他

■日時 2019年7月20日(土) 13:00~14:30

■受講料 会員 3,456円 (入会金は税別5,000円。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です。)

一般 4,104円

■場所 ルミネ横浜8階(横浜駅東口)

<講師紹介> ひさもと ゆうこ 東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィル、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、神戸室内合奏団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ブロードウッド(1820年製)、ペーゼンドルファー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エラーール(1868年製)などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いたの演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。2010年、ショパン生誕200周年記念年には、全国各地でプレイエルを使つての演奏会に出演。軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、日本人で唯一ペーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。国立音楽大学創立90周年記念事業 楽器学資料館ピアノプロジェクトとして2013年に開催されたレクチャーコンサートで歴史的楽器5台を使用したコンサートに出演し、2014年には「黎明期のピアノ〜プレイエル、シャンツ、ブロードウッド」(サントリーホール・ブルーローズ)に出演。2012年、2014年、2017年イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。これまでCD12作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞CD特薦盤、レコード芸術特選盤に選ばれ、「ベートーヴェン」テレーゼ”ワルトシュタイン”はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「モーツァルトはどう弾いたか」(丸善)、「原典版で弾きたい!モーツァルトのピアノ・ソナタ」(アルテスパブリッシング)、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」「ショパンとプレイエル・ピアノ」「リストとペーゼンドルファー・ピアノ」(学研プラス)など。国立音楽大学教授、ペーゼンドルファー・アーティスト、日本ラトビア音楽協会理事。久元 祐子 ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

※受講者が一定数に達しない場合、やむを得ず講座を中止にする場合がございます。

※個人情報、受講連絡や各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 横浜  
朝日JTB・交流文化塾

お申し込み  
お問い合わせ

045-453-1122

〒220-0011 横浜市西区高島2-16-1 ルミネ横浜8階  
<http://www.asahiculture.jp/yokohama>